

社会資本整備総合交付金 事後評価シート  
都心地区都市再生整備計画

令和3年3月

滋賀県大津市

様式2-1 評価結果のまとめ

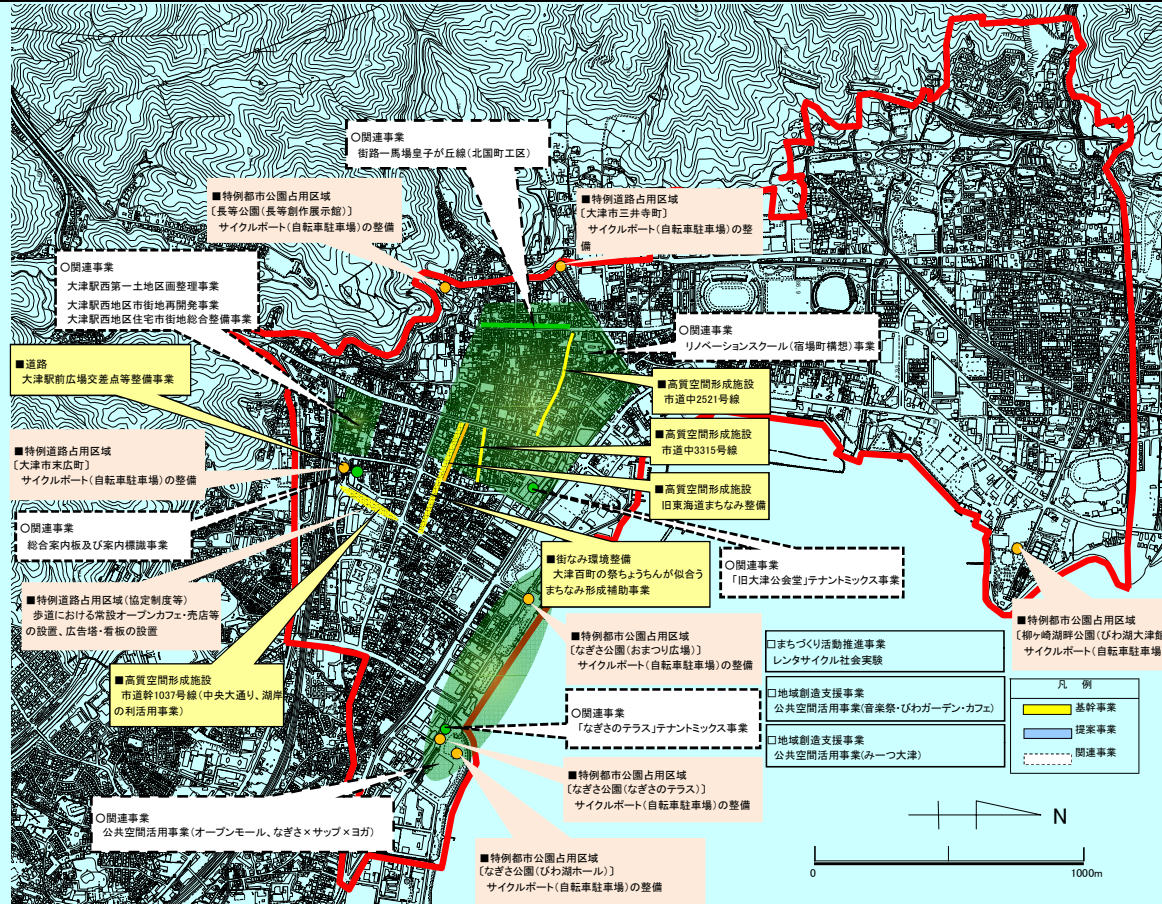
都道府県名	滋賀県		市町村名	大津市		地区名	都心地区			面積	461ha	
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	429(百万円)	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 高質空間形成施設(市道中2521号、旧東海道まちなみ整備)									
		提案事業	レンタサイクル社会実験									
		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(歴史・文化・観光サイン設置)	関連事業として総合案内板及び案内標識整備事業を実施済であるため。			指標「観光客数」に関連するが、指標等は据え置く					
		提案事業	札の辻高札場復元事業	土地所有者との協議が難航し、実施が困難であるため。なお、関連事業でリノベーションスクール事業を実施し、宿場町大津の魅力創出に繋がっていることから、指標への影響はない。			指標「観光客数」に関連するが、指標等は据え置く					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(大津駅前広場交差点等整備事業)、高質空間形成施設(市道中3315号、市道幹1037号線(中央大通り、湖岸の利活用事業))、街なみ環境整備事業(大津百町の祭ちようちんが似合うまちなみ形成補助事業)	歩行者の安全な通行の確保及び公共空間の活用による賑わいの創出により回遊性の向上を図るため。また、歴史的まちなみの景観を保全、形成することにより、観光客数の増加につなげるため。			指標「観光客数」の目標値を上方修正					
提案事業		公共空間活用事業(み一つ大津)	まちあるきや体験により、大津の魅力をさらに発信し、さらなる賑わいの創出につなげるため。			なし						
交付期間の変更	当初	平成27年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
	変更	平成27年度～令和元年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
							モニタリング	評価値				
	指標1	観光客数	千人/年	5,044	H25	5,106	R1	—	5,021	×	あり — なし	旧東海道まちなみ整備や大津百町の祭ちようちんが似合うまちなみ形成補助事業により、旧東海道やその沿道にある町家と調和したまちなみの形成を図った。また、大津駅前広場整備事業による国道161号からJR大津駅へのアクセスの向上や市道中3315号の整備事業により、歩行空間のバリアフリー化や、安全性の向上を図ったことで、地区内の回遊性が向上した。しかし、市道幹1037号線の整備事業が未完了であり、公共空間を活用したオープンカフェ等の設置による賑わいの創出など観光資源として有効に活用できなかったことから、観光客数の増加には繋がっておらず、目標未達成となった。
指標2	居住者数	人	26,121	H25	26,643	R1	—	27,508	○	あり — なし	土地区画整理事業・市街地再開発事業により新たな住居が創出された。また、大津駅前広場交差点等整備事業や市道中3315号の整備事業により、歩行空間のバリアフリー化や安全性の向上が図られるとともに、市民活動拠点間を結ぶ幹線道路の整備等により、より良好な住環境が形成された。このことにより、居住者数が従前値から増加し、目標の達成に至った。	—
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
							モニタリング	評価値				
その他の数値指標1	休日の歩行者・自転車通行量	人	9,810	H25	/	/	—	12,627	/	/	旧東海道まちなみ整備や大津百町の祭ちようちんが似合うまちなみ形成補助事業により、旧東海道やその沿道にある町家と調和したまちなみの形成を図った。また、大津駅前広場交差点等整備事業や市道中3315号の整備事業により、歩行空間のバリアフリー化や、安全性の向上が図られるとともに、公共空間を活用したイベントの実施により地区内の回遊性が向上した。このことにより、休日の歩行者・自転車通行量が従前値から増加した。	—

4) 定性的な効果 発現状況	旧東海道まちなみ整備事業やまちみ形成補助事業による、道路の美化や無電柱化、修景整備により、古くから港町・宿場町として栄えた大津にふさわしい歴史的まちなみ環境の形成と維持向上を図るとともに、江戸時代から受け継がれてきた「重要無形民俗文化財」である大津祭の曳山行事の巡行路としてもふさわしい、より魅力ある景観づくりに寄与した。また、これらの事業により、地域の歴史や文化、風情あるまちなみに対する人びとの愛着や誇りなど、市民意識の醸成につながった。			
5) 実施過程の評価		実施内容	実施状況	今後の対応方針等
	モニタリング	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施できた 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	— — —
	住民参加 プロセス	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施できた 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	— — —
	持続的なまちづくり 体制の構築	地域住民有志により締結された「まちなみ協定」に基づく、旧東海道まちなみ整備検討委員会の設立及び、旧東海道修景ガイドラインの発行や、旧東海道まちなみ整備事業の実施。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施できた 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	— ● —

## 様式2-2 地区の概要

### 都心地区(滋賀県大津市)都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
古都大津の歴史資源を活かした風格ある住み良いまちづくり ①歴史的資源の魅力の創出と活用 ②地域住民や来訪者の歩きやすさ・移動しやすさ、住みやすさの向上を図る	観光客数	千人/年	5,044	H25	5,106	R1	5,021	R1
	居住者数	人	26,121	H25	26,643	R1	27,508	R1
	休日の歩行者・自転車通行量	人	9,810	H25			12,627	R1



【整備前】



【整備後】

#### まちの課題の変化

- ・旧東海道まちなみ整備事業やまちなみ形成補助事業により、道路の美装化や無電柱化、修景整備を行うことにより、旧東海道やその沿道にある町家と調和したまちなみの景観形成に寄与した。
- ・大津駅前広場交差点等整備事業や市道中3315号の道路改修により、歩行空間のバリアフリー化や安全性の向上が図られるとともに、市民活動拠点間を結ぶ幹線道路の整備等により、より良好な住環境が形成された。
- ・街路事業(馬場皇子が丘線)が未完了であり、幹線道路の整備を行うことで、今後も引きつづき、地域住民や来訪者の歩きやすさ、移動しやすさ及び住みやすさの向上を図る必要がある。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・地区計画などの活用により、町家などの歴史的建造物やまちなみ景観の維持・保全に努めるとともに、歴史的風致維持向上計画において、重点区域に設定し、各種施策を展開する。
- ・未完了の幹線道路整備等の推進により、歩きやすさや移動しやすさの向上を図るとともに、公共空間を活用した事業の実施により、にぎわいを創出することで、歴史的なまちなみが残る地域における回遊性を高める。